

令和3年度 第1回京丹後市史跡整備検討委員会 会議録

- 1 **開催日時** 令和3年12月13日(月) 午後1時30分～午後4時
- 2 **開催場所** 網野保健センター 2階会議室
- 3 **出席者** 三浦到会長、杉原和雄副会長、岸本直文委員、高瀬要一委員、梅田和男委員、山下弘貴委員、毛呂敏弘委員、藤田泰弘副会長、澤吉博委員、引野雅文委員
京都府教育庁指導部文化財保護課 アドバイザー
(事務局 新谷勝行文化財保護課長、岡林峰夫文化財保護課係長、奥勇介文化財保護課主事、大江裕観光振興課長、稲岡信一土木課長、増田洋祐株式会社空間文化開発機構研究員)

欠席者 宇野貞夫委員、久保有紀委員

4 議事

- 1 開会挨拶
- 2 会長・副会長の選出
- 3 議事
(現地視察・説明)
 - (1) 網野銚子山古墳の整備工事について
 - 令和3年度網野銚子山古墳の整備工事について
 - 令和4年度網野銚子山古墳の整備工事設計について
 - ・前方部 既設丸太階段補修
 - ・墳丘復元盛土 前方部北東隅
 - ・付け替え道路
 - (2) その他

5 **公開又は非公開の別** 公開

6 **傍聴人の人数** 0人

7 要旨

1 開会挨拶

○教育長挨拶

教育長 こんにちは。本日はご多用のところ、またこのような足元の悪いなか令和3年度第1回京丹後市史跡整備検討委員会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。杉原先生、高瀬先生、岸本先生におかれましてはご多忙のところ遠路お越しいただきありがとうございます。本検討委員会につきましては昨年度の7月20日に開催しました後、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言の発令等が続きましてしばらく委員会を開催できない状況となっております。本年度に入っても当初は9月に開催予定としておりましたが、8月末の全国的な感染の拡大により本市でも感染状況が厳しい状態でしたので、延期させていただいた関係で、本日が約一年半ぶりの開催となります。

文化財保護課ではその間も委員の皆様书面でのご審議いただきながら網野銚子山古墳の環境整備工事を進めてまいりましたが、委員会の皆様方のご助言やご支援によって全体の半分以上の整備が終了し古墳公園としての姿が分かるようになってきております。国の補助金等の関係もございますが、整備事業は令和6年度完成の予定で進めていきたいと考えておるところです。

さて本日の委員会は、最初に昨年度下半期および今年度の関係工事について、現地にて直接ご確認をお願いしたいと思います。続いて令和4年度に整備工事を予定している内容について現地でのご確認の後、ご審議をお願いしたいと思います。本日も多くの議題がございますけれども最後までどうぞよろしく願いいたします。

事務局 前は令和2年7月20日の開催ということでした。そこから一年半ほど間が空いての開催となっております。この間6月30日で委員の任期が終了しましたこともありまして、委員の皆様には7月1日から2年間の任期で改めてお願いをさせて頂いております。

委員の皆様全員に教育長より委嘱状を渡すべきところではございますが、時間の都合上、今回は机上配布とさせて頂いております。

今回、委員として12名の方をお願いをしております。一年半間が空いていたということでその間に委員の交代がありました。地元関係者では網野連合区長であります、梅田和男委員。そして行政関係者ということで京丹後市教育委員会の教育次長として引野雅文委員に、欠席ですけれども教育理事兼総括指導主事の久保有紀委員をお願いをしております。簡単に自己紹介をお願いできればと思います。まず、梅田委員からお世話になればと思います。

委員 失礼いたします。ただいまご紹介預かりました、網野連合区長の梅田でございます。

この公園整備につきましてはぜひぶん長いことかかっているということで伺っております。

すけれども、私どもは網野連合区民を代表して、この場に来させて頂いてるということでございますので、今後ともこの公園整備は進みますよう祈っておるものでございます。どうぞよろしくお願いいたします。

委員 失礼いたします。本年の4月1日より教育委員会の教育次長を仰せつかっております引野と申します。委員の皆様には大変お世話になりますけどもどうぞよろしくお願いいたします。

2 会長・副会長の選出

事務局 続きまして議事を進めさせていただくということで、会長・副会長の選出を行いたいと思います。

お手元の資料では3枚目になりますけれども、京丹後市史跡整備検討委員会条例の方をつけております。第5条のところに会長1人及び副会長2人を置くという風になっております。会長、副会長は委員の互選で決めるということになっておりますけれども、どのようにさせていただいたらよろしいでしょうか、お諮りをしたいと思います。

委員 事務局一任で。

事務局 今、委員から事務局一任でというお声を頂きましたのですけれどもいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。事務局と致しましては、三浦到委員に会長をお世話になりたいと思います。あと、杉原和雄委員と藤田泰弘委員に引き継ぎ副会長をお世話になりたいと思いますけれどもいかがでしょうか。

ありがとうございます。それでしたら三浦会長、杉原副会長、藤田副会長ということでお願いしたいと思います。会長より一言ご挨拶をお願いします。

会長 三浦でございます。前回に引き続きということで、私でよろしいかどうか自分では非常に心もとない気がしておりますが、皆様方のお力を頂いてなんとか職務を全うしたいというふうに思っております。よろしくお願いいたします。

今日の教育長さんのご挨拶の中で令和6年度完成という日程が示されましたけれどもこの銚子山古墳の公園整備が、皆さまのご意見を反映して確かなものになるように頑張ってきていきたいと思いますので、是非とも皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。それではよろしくお願いいたします。

事務局 続きまして会議録確認署名委員の指名に移ります。事務局の方で、会議録を作成し

公開しておりますが、後日会議録を確認していただき署名をいただく形でお世話になりたいと思います。運営と致しましては 2 枚目の名簿の中で地元の委員の皆様順番にお世話になりたいというふうに考えておりますが、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは地元関係者ということで 1 番に挙がっております梅田和男委員に今回お願いしたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いしたいと思います。

3 議事

事務局 続きまして議事ということで進めさせて頂きたいと思っております。この後、現地視察の方を予定しております。現地へ行く前にお手元の資料で今日の現地視察の行程につきまして、事務局の方から簡単にご説明をさせていただきます。

事務局 今日はお世話になります。これから現地の方に向かっていただくんですけども、現地での説明の流れについてご説明をさせていただきます。令和 2 年度及び 3 年度の工事の成果について現地ですら確認をしていただくということになります。最初に前方部の墳丘の裾の復元、周溝表示のあたりを見ていただきまして、後は令和 2 年度に階段整備をしておりますのでその階段を上がっていただき、墳丘の上の樹木伐採の状況を確認した後に前方部の方に移動しまして、令和 4 年度の設計の課題となっているところのご説明をさせていただくというような流れで考えております。

令和 4 年度の設計のポイントは大きく三つございまして、一つは前方部の既設丸太階段。これの補修をどうするかというところですね。二つ目が墳丘復元盛土。墳丘がかなり削られていることが判明しておりますので一部復元をしていきたいということで、収束部分の仕様について検討して頂くというところが二つ目です。三つ目です。こちら前方部の方には市道銚子山線が通っておりまして、この盛土工事をすることによって付け替えが必要になってくるということがございまして、その法線について案を出しておりますのでご意見を頂きたいと。大きくその三つのポイントで意見を頂きたいというように考えているところでございます。現地でもご説明をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

(現地視察)

(1) 網野銚子山の整備工事について

○令和 3 年度網野銚子山古墳の整備工事について

会長 ご苦勞様でした。今現地視察してきたところですが、まず最初に令和 3 年度の整備工事につきまして、もう済んだところを見ていただいたわけですがこれについて何かご意

見がありますでしょうか。お気づきになった点で改善点等ありましたら出していただければと思います。

令和 3 年度は樹木伐採とそれから前方部の北東側の周溝部分の部分の盛土と墳丘の盛土を行なったというところではありますが、樹木の関係も現地でも色々と言ったわけですがもう少し下の方が切れないかというふうな思いを私は持っておりますが、何かご意見あれば。

委員 墳丘の裾に石を並べたところいままでより急に大きくなってしまって具合悪いなど思ってるんですけど。後はそのジオベストでやったところに草がいずれ入ってくるのかどうかっていうのがちょっと気になって、あのままの土の感じでずっと保っていくのか、長い目で見ると多分草で覆われてくるんじゃないかなと思う。どういう草なのかっていったら、現況で周りで育ってるような草になるのかなと思うんですけど、その時に草刈りをしないといけないようになってくる。その草刈りをうまくやれるのかなっていうのがちょっと心配です。

事務局 失礼します。ジオベストでやったところなんですけど、ジオベストの目的っていうのが基本的によく使われるのがあの防草のところで舗装をするという形で使われているものなので 基本的にそんな急激に草が生えてくることはないと思います。でもやっぱりひび割れとかが入ったりしたところにちょっとした草が生えてきたりすることはあるとは思っているので、それはもうあの維持管理の中で草抜きをしてもらうとかで今の土の状態がそれなりに維持されるのではないかなと考えております。ですから 最初計画の中で張り芝をするみたいな話もあった中で維持管理が大変ってということで土舗装にしたんですけども、芝地のような維持管理は必要ないとは考えております。

副会長 かなりの厚さで含侵させてあるわけですね。通常遺跡公園で園路そのもの樹脂で固めて園路にしてる工法いっぱいありますよね。あれに比べたら歩くようにはしてないわけですね。堀の中だから、園路ほど固くはしてないわけでしょう。あの場所人がしょっちゅう入るのか入らないのかわからないけど、私はできたらそのまま草が適当に生えてね落ち着いたら一番いいかなと思うんですけど。

会長 現場でも話したんですけど、ちょっと様子を見る以外にないかなという風なイメージなんですけどね。1年見てどれくらい草が入るものなのかどうかというあたりかなという風に思ってますが。

副会長 どういう使い方をするかというのも関係してくるからね。

会長 でも使うとなっても完成してからになるね。その3年間ぐらいでどうなるか。

委員 まあ是非グラウンドとして使っていただければと思いますけれども。裾の石はさらに何かするっていうか可能なんですかね。大きさだけじゃなくてポコッと飛び出してる感じがするのでちょっと危ないのかなという気もするんですよね。斜面に張り付いて表面の大きい石が見えてるっていうだけでなくて頂部も含めて外に出ているっていうそういう石が並んでる風に見えて少しどうかなっていう気がします。

事務局 石の飛び出ている点は2年度工事の時に気になった点でありまして、3年度の工事では注文をつけて改善されていると思います。その葺石の上のところの斜面の部分は今は植生シートをが目立っている形ですけど今後草が生えてくるので、そのうち目立たなくなっていくんじゃないかなと考えています。

会長 先ほどありましたけれど前やっているところと石の大きさが違うという不自然さという状態の解消法は何かないでしょうか。

事務局 購入石で施工の部分は復元線ということで、発掘調査で押さえられているところは現場の石を使うと。推定復元としたところはしっかり分けていこうということから来たものです。大きさについては、発掘調査で出てきます基底石の大きさが40センチ角ぐらいの大きさで出ておりましたのでそれを基にしたのですが、大きめの石を用意されていたので、大きいような印象も与えるような仕上がりになっているということです。

会長 今の説明だと、去年までのところは実際に現場にあった石を使っていると。復元部分のところについては実際に発掘調査で出てきた石を使った。そういう説明ができればいいんじゃないかと思います。五色塚でも黒っぽいもともとあった石と白っぽい新しい石という使い分けしてますから。そういうことで説明できればいい。報告書にそんなこと書いたりして。

副会長 一番大きいサイズとしてはあれくらいあるよね。

事務局 そうですね。一番大きいサイズとしてはこれくらいでしょうか。

会長 そういう説明で作ってもらいましょうか。

○令和4年度網野銚子山古墳の整備工事設計について

・前方部 既設丸太階段補修

会長 4年度の工事に関してですが、3点ほどあります。最初は既設の丸太階段の補修ということで資料の3-2と3が一緒になります。資料の3-2の方で行きますと、今の現状の階段を、土を盛ったり枕木を入れたいという計画になってますけども、資料3-3で行きますと前方部の端が盛土で広がっていきますのでその盛土の部分から階段を作っていくこととなりますので、資料3-2のその下の方は12段か13段ぐらいですかね、そこまでは埋め殺しになってしまうということで、それから上の階段をどうするかという風なことで意見を賜りたいと思います。

要するに前方部の一番上の方から降りてくるところになりますけどもその埋め殺しになるまでの現在の階段工の改修方法につきましてご意見をいただければと思います。

委員 他の委員さんがおっしゃってたんですけども、枕木を設置した上でさらに真砂土舗装でスロープにしたらどうかって言われたんですけど、それなかなかいい案だなとは思いましたがね。スロープだけではもたないっていうかいずれ真砂土舗装が減ってきた時に枕木が役に立つじゃないかな、っていう感じがしましたけどね。

副会長 左右の溝状に落ちてるところはもう決まりですよ。植生土のうを積み上げてそれをしっかり墳丘の斜面に近い形までやってもらった方がいいね。溝をちょっと埋めとくわ、じゃなくてできるだけ墳丘を意識したところまで。結構土のうも数がいる必要で、結構大仕事になるんじゃないかと思うけども。結構距離もあるしね、けど少なくとも両サイドの植生土のうはしっかり積んどいた方がいいと思うんですよ。

その上で真ん中の階段を。ここもいわばへこんでるんですよ。階段部分も、墳丘から言うたらちょっと低いですよ。本当はもっと高い方がいいんだけどこの階段以上に高くはできないんで、枕木おいてしっかり真砂土一旦入れてみるしかないのかという気がしますけどどうですか。

会長 私もう一つ思ったのは、この枕木幅15センチですよ。ステップにするにはちょっと狭い。階段のステップだからこれを2本並べたらどうかと思うんですが。2本並べてそれからスロープにする。

副会長 それもいいかもしれない。

会長 枕木も腐りますからね。これもいずれは。

琴引浜の鳴き砂文化館の上がる道を枕木をずっとあげてるんですけどやっぱり20年経つてくると腐ってくる。当然出てくるんではいずれはそうしないといけないんでしょうけども。2個つけたらどうですか。案ですけど。

事務局 設計上は大丈夫ということのようですので検討させていただきたいと思います。

副会長 全面的に木道みたいにしてしまうという方法もあるだろうけど、それは古墳にはふさわしくないでしょうね。

アドバイザー これ基礎碎石入れるところで既存よりも掘削して碎石を入れる予定ということですよ。その時にこれ遺構面としては大丈夫なんですか。結構えぐれてる所に設置してるとなるとその既存残ってる墳丘を削ることにならないかなというところがちょっと心配なのと、アンカーにしてもそうですけど墳丘に打ち込むことになるところの問題としてはどういう対処方法がいいか。そこが盛土だから大丈夫だとかいう風に言ってもらえるならいいのかなと思うんですけども。

事務局 その点については、今ある階段を設置した時の図面等がないということがありますから、どれぐらい盛土しているかどうかいうところは正確なところは分からないのですけれども、ただステップのところを見てますと土のう積みをしていると見られる部分もあるので盛土をしてあると考えています。この案では基礎碎石につきまして概ね横木の所で止まるような設計になっているので、盛土の中で掘削は止まるという判断をしているところです。アンカーについてはそんなに太いアンカーにはならないですよ。

事務局 15 ミリぐらいですか。

事務局 その程度であれば抑えということで可能ではないかなという風に思っています。

副会長 既存のものを使おうとするからいろいろややこしくなる。墳丘そのものがもう既に目減りしてるのって言う、今のような意見も出るんだと思うんですよ。これ一旦全部引っこ抜いてね、ここをもう植生土のうでしっかり積んでしまっってその後今の丸太を上を引き上げて作りなおすのは。一旦 引っこ抜いてしまっって今へこんでるところを植生土のうでしっかり詰めてしまっってその上にもういっぺん木製階段を設置するみたいな。後円部の階段と同じようなやり方になるのかな、いう方法もないではないとは思いますが。

会長 埋め殺しにする下の擬木は全部引っこ抜いても全く問題ないですね。使えるよ。再利用できる。

事務局 引っこ抜くという案も考えなくはなかったのですが、ただそのままきれいに抜けるとは限らないところでちょっと躊躇していたということです。全部引っこ抜くのと

碎石の部分だけ削るってのはどちらがリスクが大きいのかいうところ。私どもで判断できない部分もあるので、京都府さんと相談しながら検討させていただきたいというふうに思います。

会長 新しく作り直したでしょう。階段を。あれ後円部も流れて今の前方部上がるころみたいになっていないですか。それと同じような格好で。後円部の上がり口の所の擬木の大きさが今の前方部の擬木の大きさとどう、同じなのか違うのか。どれくらい違うのか。ちょっと調べてもらって それで作るようなら本当に全部取ってしまって、新たに階段作るんだというふうな考え方もできるんじゃないかな。その方が綺麗になるんじゃないかな。

副会長 できたらいいだろうね。

会長 検討してください。

委員 全部でなくても、えぐれてるところを中心に、くぼんだ所をしっかりとこう中埋めて上に作り直すっていうのは検討する価値はあると思います。

事務局 貴重なご意見いただきました。検討を進めていきたいというふうに思います。

・墳丘復元盛土 前方部北東隅

会長 そしたら その次の3の3。前方部のところの復元盛土との関係ですけども、現地で見たい通り市道の上は全部埋めてしまうという格好になるんですけども埋めてそこに新しく階段をつけて1段目のテラス部分まで上がると。そこから今言ってきました階段工で前方部の頂上に向かっていくというふうな法線で作ってはどうかということなんですけどこれにつきまして何かご意見ありましたら出してください。

会長 この3-3の図面の左の方の平面図の上から見た俯瞰図みたいのがありますが、これの墓のところからこう立ち上がってきますよね、植生土のうと書いてありますがこの角度はどれくらいになりますか。あまり距離がないんでどうかと心配しますが。

事務局 1：2.5です。

会長 前端部のところの角度は。同じですか。

事務局 今は1:1.5ですね。ゆるくなります。

副会長 高さ的に子供が駆け上ったりしませんよね。急ですよ。落ちる方が心配。

事務局 テラス部にはロープ柵とか人止め柵を設置して、テラスは安全管理を施すという検討をしております。

委員 下の斜面の階段の横にはそういう柵はないんですか。今、1段目テラスのところですよね。下段の斜面は結構高低差があり下まで落ちると大変だったと思うけど。階段の側にはそうつくんでしょね。

事務局 付かないですね。

委員 テラス部の斜めの太い線のところには、ロープ柵が来るという話ですよ。階段上がってくるところの上のところ縁辺には予定をしていないってことすかね。

確認なんですけど、先ほどの1/800の平面図の今施工されてるのはどこまで来てるんですかね。

事務局 3-3の資料の図面で行きますと、No8と書いてるところから15mほど左に入ったところになります。前方部前面の2段目テラスが復元されているあたりです。この辺まで3年度の工事が出来ているということです。

会長 盛土補強材というのはどんなものですか。

事務局 盛土補強剤っていうのは盛土の中に厚さ30cmごとに2mの幅のネットを敷いて滑り止めの、円弧滑りを防止するための補強材になっております。

副会長 ちょっと違う話ですけど、前方部の下から階段を新たに作りますね、上がったところが1段目の平坦面になるわけですけどここに柵をつくる。ロープか木ですけど両側に要りますかね。この踊り場狭いからね。階段に大勢っていうか、例えば子供の団体など、登った時にこの踊り場両方逃げ口がないと、次すぐ階段登らないと逃げられない。テラス側の方のロープがなければ、そこへちょっと逃げれると思うのだけど。これいりますかね。ここ絶対歩かせないという方向かな。この平坦部は。

事務局 設計の意図としてはあんまり人が入らないようにということで設計してもらってます。この図面で言うところの右側のところは、必要だろうというように思いますけれど

左側の方については管理がいいかどうかという問題だろうと思います。

会長 通らせないという発想なら、くびれ部に近い階段のところだって蓋しておかないといけない。理屈的に言うと。

副会長 そうすると崖の方の柵はロープじゃなくてしっかりした木の柵の方がいいのかも知れませんね。ロープだと簡単に乗り越えちゃう。

事務局 こちらは提示してある写真の二つのうち下の方がよいということですね。大山崎町のところでされてるような仕様の方がより良いということですね。

会長 その他ございませんか、よろしいですか。そしたら3-3はそういう風にします。

・付け替え道路

会長 次ですが3-4と3-5の図面で取り付け道路の関係です。付け替えの関係ですが直線でいくかS字で行くかというふうな二者択一の案が出ていますが、これについてご意見を出してください。

副会長 できるならS字の方がいいと思いますね。コーナーが少しでも意識される。これしかし全体ではかなり急に曲がらねといけませんよ。4m幅の道路で行けますか。今程度の車は通すわけですよ。

事務局 整備ができましたら、駐車場をもうひとつ南の道に作りますので、観光客とかはあまり通らないこととなります。観光客は通らないとは思いますが、地元の方、就農されてる方とかは通るのでその程度の交通量は見込んで計画させていただいています。

アドバイザー 今このどちらの案もですね、この既存の市道に、接道するとですね、墳丘復元はしないんですけども、墳丘の想定ラインの中側、内側に市道が残ることになるけれども、将来的にこの先もし整備とかをして行く時とかに、この市道がこの墳丘復元ラインを侵食してるということはちょっと禍根を残さないかどうかというところが心配です。

会長 墳丘ラインまで入ってるのかな。

事務局 墳丘ラインが既存道に入っているかということですが、今この図面でいきますと現況では既存の市道は墳丘ラインの内側を走ってるということになりますが、どちらの

案を採用するにしても付け替え後はギリギリ外側に走っていると考えていますので、その辺は一定の配慮はできてるかなというふうに考えています。

将来的な整備をということですけど、この先の部分は本覚寺、お寺のところですけど現状は墓地として扱われている事があるので、すぐに大きな改変することはおそらくないだろうという風に思っております。

委員 3-5の資料で見ると、これ墳丘の外に、墳丘の裾よりも外に行くように市道を手前からもう少し曲げて言ったらスムーズに曲がれるし線が描けると思うんですけどどうですか。この今の現況だと少し墳丘の中に入るラインになってますよね。

事務局 現地でちょっとご説明が足りなかった部分かなと思うんですけども、現有道路のところ、地形は道がちょっと低くてその横の畑部分がちょっと高いような状況になっておりまして、ここを通そうとすると元の地形を削り込むような形になるんですね。あまり削り込みはしたくないなという思いがあります。実際に設計する時はさらにギリギリのところを詰めていくことはできるかな、と思いますが、そんなに動かすことはできないというふうに、今考えています。

委員 水路の路線は変えられないということですか。水路の線形は変えられないのでどうしてもこういう形になるっていう説明でしょうか。

事務局 水路については現況の市道の部分を触るつもりはありませんので現況の市道に沿った形で既存の水路があるところまで伸ばすというイメージですね。

委員 そうするとなんか少し墳丘に食い込むようになるじゃないかなと思うんだけど、大丈夫ですかね。なんかちょっとその辺が気になります。

事務局 その辺りはなるべく食い込まないように設計を詰めていきたいというふうに思っています。おっしゃることはよく理解できますので、少し検討を進めていきたいというふうに思います。

副会長 現道の突き当たりに車止めを置く設計になってますよね。墳丘の中まで現道をそのまま残しといて、車止めしようとするわけですね。これは残しておかなければならないものですか。車止めしてここまで車入っていいということになるのだけでも。

事務局 この車止めですね。現況何もなくて付け替えに伴って新設しようと言う設計なんですけれども、車が間違えて入ってくることはあまり考えにくいのかもしれません

が、万が一そういうことがあった時のために設置をしておいた方が良くないかという思いで付けさせてもらったものです。こちらについても宿題ということでさせていただきたいと思います。

副会長 前方部の先端の斜面とがっちり会っちゃうわけですね。法面の下が道路に。厳しいね。

会長 要するにそのこの法線をもっと右の方に触れないかということさっき言った墓地の関係がどうなるか分かりませんがもっと法線を右に振れないか。

副会長 下手したら右側に車が突っ込むかもしれない。

会長 そういう格好になる。検討してもらった方がいいと思いますね。ちょっと大きな問題ですけど、その土地の問題でも絡めて検討してもらって。

事務局 できるだけ右側に振れないかと言うところで再検討させていただきます。

会長 ひょっとしたらお寺との交渉もしなければいけないのかな。

会長 法線につきましてはS字の方がいいということですが、大きな問題としてもう少し法線を寛平さんの方に触れないかということ検討いただきたいと思います。

よろしいでしょうか。はい そうしましたらまあ時間も迫ってきてますので整備工事に関連しましたことは終わりたいと思います。

(2) その他

会長 レジメの2番目、その他とありますが、何かございますか。

委員 令和6年完了ということなんですけど、もうそろそろ、地元の方で、出来上がったあの場合をどうつかっていくのか。お役所が作ります、作りました、お役所が使い方もこうしたらというわけでなくて、地元の方で本当にいろんな使い方ができると思いますので、そういうことを続ける中で新しい行事として成長していく、そういうものもあるかもしれませんが、そういうことの地元の方の組織化とか話し合いみたいなものも、できてからでなくても、これぐらいから検討進めて行っていただければと希望します。

事務局 今の委員のご意見に対してなんですけども、この検討委員会は定員が15人と条

例上は定められているのですが現在 12 人ということで定数を満たしていないところがあるんですね。事務局のまだ素案段階ですけれども、今おっしゃられた通り今後をどう使っていくのかということを見据えていかないといけないかな、ということを考えておりました。そういった活用を見据えたような委員の人選なんかを来年度に向けて検討してみたらどうかということをお腹案では持っております。

委員 私が思いつくものは盆踊りとか運動会とかそんなことしかないんですけど、やっぱり若い人ですね、自由な発想するような。あそこでもいろんな、また若い人の発想があると思いますので、そういう地域を何とかしていきたいという元気な 30 代とか 40 代とかなんかそういう人がいらっしゃったら入っていただいたら面白いんじゃないかと思えます。

事務局 貴重なご意見ありがとうございます。この場では皆さんに思いつきで申し上げたところがあるんですけれども、ご提案として、今後その委員会の委員をもう少しそういう岸本先生がおっしゃられたような若い世代の方例えば女性だとかそういった方々を今後ちょっと人選をして定数を満たしていないというところもあるので、満たしていくようなことをご検討できればと思うんですけども、皆さんそういったことをご賛同いただけるようでしたら、来年度へ向けて、事務局としても検討していきたいと思うんですけどいかがでしょうか。

会長 どうでしょうか。結構かと思えます。

事務局 ありがとうございます。そうすれば、今年度もう一回委員会をさせていただこうと思うのですが、来年度に向けてというふうな課題ということで 4 月以降の来年度にはそういった形でお願いしていくということで検討させていただければと思います。

会長 網野区の地元の方でまた動きが出ればありがたいんですが。

委員 昭和 30 年代に入ってから寛平法皇陵を使った寛平法皇祭という祭りを我々の親の世代があそこを使って作り物やらなにやらということをやっていました。ただ今最近になってからコロナの関係もありまして、そういうイベントがもう 2 年、今年も果たしてできるのかどうか分かりません。けれども寛平法皇陵を使った夜の祭りイベントを実施したいとしてきたということがありますね。半分が寺の所有、半分が連合区の所有、ということもあるんですが、そこには長田区を始め、連合区の皆さんや、また帰ってこられた方々が集まっていたいて祭りを楽しんでいただくということです。今までも山陵祭という形で銚子山古墳の山頂です、神主さんが祝詞をあげて我々区長、連合区長がそういう

ことはしてきましたし、夜は電気ですっと明るくして、区民が銚子山古墳に上がっていきるといふこともありました。

今後として私は考えてるのは、一つは広くなった古墳のグラウンドで全員が皆集まって、できれば長田区だけではなくて、例えば、すぐ隣の御陵区、福田区はじめ連合区6区が、古墳祭りという形式をとって、そこでイベントを行うと。今まででしたら音楽をやったり花火を打ち上げたり、お店が出たりということもありますので出来ればテラスの一部をステージの代わりに使わせていただけるようなことでもなれば、街全体ですね、そこに集まって楽しんでもらえるという風に思っています。

社会福祉法人桃山の里っていうのがありまして、障害を持った方々がそこに来られるんですけども、彼らが陶器を作ってます。わたし、そこにボランティアとして関係していますので、私が図面書いたやつを作ってもらいました。私の家には円筒埴輪が作ってありまして大きなやつが飾ってあります。1/3 スケールと 1/5 スケールがあるんですけども、それをもっと安くですね、市民がみんな作ってテラスで展示できると。破れたらまた作っていただくと。その指導が社会福祉法人の利益になる。また織物もやってまして織物も使った、例えば古墳時代の衣服を再現する、そういったものにも利用できれば。さらには古墳食。古墳時代の食事を網野の民宿や旅館が提案していける。さらに浅茂川の港からですね、古墳を眺めるよう、12人乗りのあの船ですね、あれも再現して福田川を登ってくる。出来なければそれにコマをつけて銚子山まで引っ張ってくるというような、なんかそういう面白いイベントが、今後コロナが治まって来れば、できればいいなという風に思っています。

我々は子供の頃には、スキーしたりあそこはまだ松の木はたくさんあって高校生のですね、出会いの場でもありましたし、自由に使えるようなそういう銚子山古墳であってほしいなとも。入場料なんか取って欲しくないというふうに思っています。以上です。

会長 ありがとうございます。大変夢のある話をしていただきましたので大いに期待したいと思います。

私もちょっと2点ばかりお願いなんですけど、一つはその令和6年という完成時期に向けて、当然取り付け道路、要するに駐車場へ行く道ですね、その道を建設部の方でまた考えていただいているようでありますので是非ともこの古墳の整備に合わせてそれらが完成しますようお願いしたいと思います。

もう一点は、これは加悦町の古墳公園を作った時にですね、それを記念して加悦町の方で古墳についてのシンポジウム、連続3回やられたんですかね。岸本先生、杉原先生もその中に出られて、私も銚子山古墳の報告をその中でしたことがあるんですけど、そのようなシンポジウムをですね、ぜひ盛大に行っていただければというふうに思っています。

古墳公園ができて加悦町がそのシンポジウムをしたのがちょうど25年ほど前なんですよ。25年ほど前と言うとまだ大風呂南、ブルーのガラス釧が出た、墳墓とか、赤坂今井

墳墓とがまだ発見されてなかった。丹後で一番古い前方後円墳であると思う湧田山 1 号墳もまだその時にはあることはわかってますけど図面なんか公開されてなかったんで、そういう話は全然その時はできてなかったんですけど、25 年間の間にだいぶ資料も増えてきて色んな考え方も、岸本先生がご専門なんですけど出てきておりますので、是非とも現在の色んな新しい知見に基づいたシンポジウムをぜひやってほしいなというふうに私は思っております。

加悦町でやった時の 1 回目は蛭子山古墳の時代で、2 番目が埴輪の成立と展開ということで、3 番目にですね「徹底検証 日本海三大古墳がなぜ丹後に作られたのか その謎に迫る」というすごい題のシンポジウムでございまして、それから 30 年近く経っておりますから今いいましたように新しい知見の元ですね、そういう何かまとめ的な、現在の時点での銚子山古墳の価値みたいなものがわかるようなシンポジウムをぜひ開いていただきたい、というふうに要望申し上げておきたいと思います。

4 閉会挨拶

会長 そうしたら時間がきましたので、最後に副会長から閉会の挨拶をお願いします。

副会長 閉会の挨拶ということで、今日は本当に寒い中ですがけれども現地も十分見ていただき、また部屋の中でもいろんな議論が活発に出了ました。こういう史跡整備は多額の経費と膨大なエネルギー使ってやってきてるわけですけどもだんだん向こうが見えてきたっていう話、先ほどから出てますしこれをやっぱり生かすも殺すのもやはり本当に生きていくためには住民の方がここを自由に使われているんな発想で楽しんでこれを利用して頂く。先程来大変面白いご意見、次々有意義なご意見いただいておりますので、そういったものを集約して行ってこの古墳を単に整備だけじゃなくてよりこれを使っていくんだっていうことで展開できればいいと思います。今後ともよろしくお願い致します。本日はどうもありがとうございました。